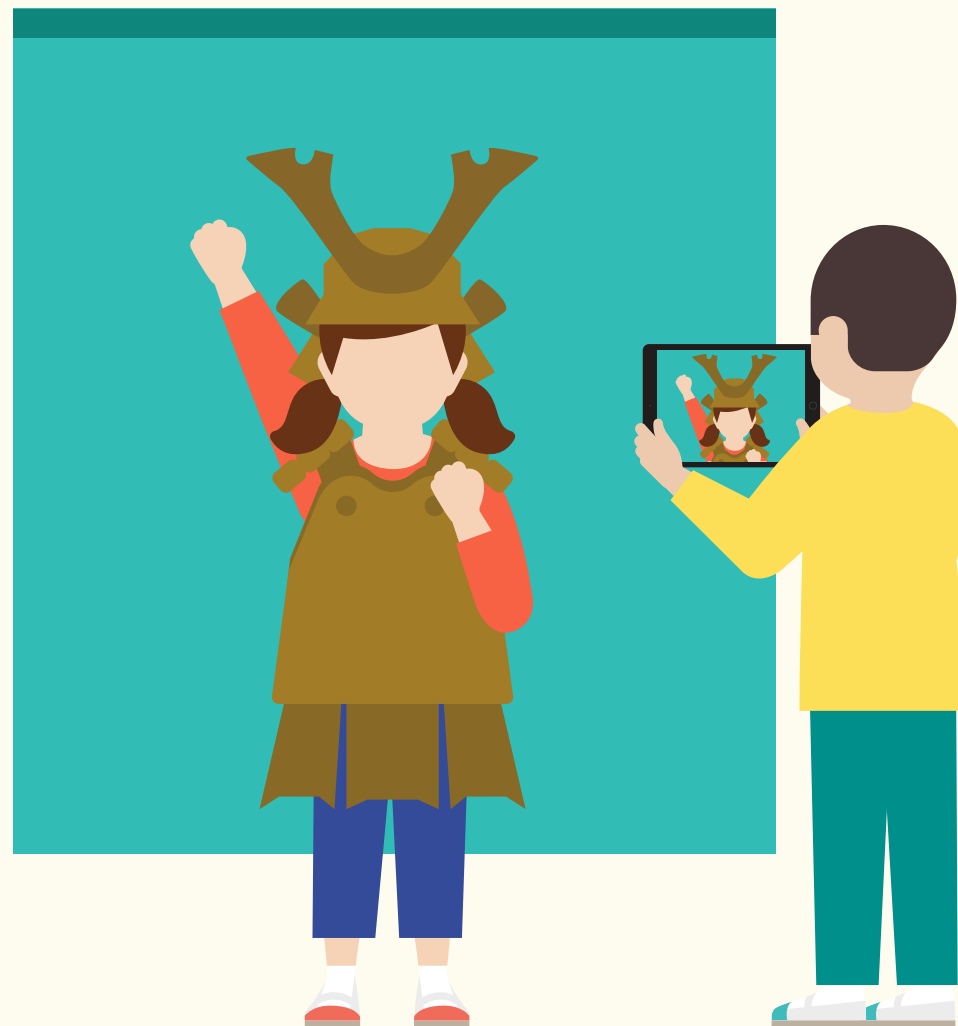


iPad授業ガイド

小学校6年 社会



はじめに

このガイドについて

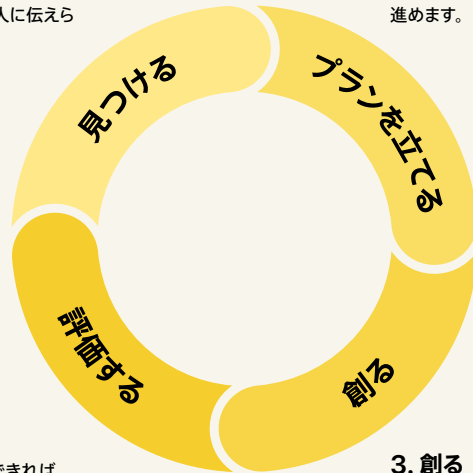
このガイドは、学習指導要領において重要視されている主体的・対話的で深い学びを、iPadを使って実現するための指針となるものです。それぞれの学年の教科ごとに3つの単元をピックアップし、毎日の授業に簡単に取り入れられるアイデアを紹介しています。各単元は、下記のデザインプロセスにもとづいて設計されています。このプロセスに沿って授業を進めることで、生徒たちは学習内容を身の回りのものと結びつけて考え、表現することを通して、知識を定着させていくことができます。

1. 見つける

体験活動などを通して、課題意識を持った教科内容について、生徒が自ら情報を集め、言葉や写真、ビデオなどを使って整理することで、気づいたことを周りの人に伝えられるようにします。

2. プランを立てる

収集した情報を比較したり、分析したりしながら、周りの人の見解や新たな発見を通して整理し、伝える内容をより充実させる計画を立て、準備を進めます。



4. 評価する

自分らしく学ぶことができれば、生徒たちはもっとスキルを高めて様々な方法で表現したいと思うようになります。他者評価や振り返りを通して学んだことを言語化し、応用できるように概念化して、次の学びにつなげます。

3. 創る

スケッチや音楽、ビデオやプレゼンテーションなどの創作活動を通して、学んだことを自分の強みと結びつけ、理解した内容を目に見える形で表現します。

情報活用能力について

情報活用能力は、言語能力や問題発見・解決能力と同様に、学習の基盤となる資質・能力として位置付けられており、教科横断的な視点での育成が求められています。このガイドで紹介するアイデアを授業に取り入れれば、情報活用能力を自然かつ効果的に身につけていくことにつながり、そこで獲得したスキルはほかの教科においても簡単に応用することができます。[文部科学省作成の情報活用能力の体系表\(16ページ以降\)](#)は、この能力を段階的、体系的に育成するため、具体的な内容を資質・能力の3つの柱に沿った、5つのステップに分けて提示しています。小学校高学年向けのガイドでは、ステップ2や3に相当するスキルを養えるよう、この体系表を参考にアイデアを紹介しています。ぜひこれらの情報を新しい授業作りやカリキュラム・マネジメントに役立ててください。

形成的評価のためのルーブリック

資質・能力の3つの柱をバランス良く伸ばしているか、また、教師のみなさんの「ねがい」や「ねらい」が実現されているかを確認する助けとなるよう、各単元の活動内容に合わせたルーブリックを用意しました。項目ごとに複数の評価基準を提供しているので、その中から、教師のみなさんが注目し、成長を見取っていきたい内容を選んで記録することができます。単元を左記のデザインプロセスに沿って評価し記録することで、テストだけでは測りきれない学習効果を可視化したり、生徒の振り返りに活用したりすることもできます。

[ルーブリックをダウンロードする](#) 

実践的な学びを促すワークシート

教師のみなさんが授業をスムーズに進められるように、各単元の活動内容に合わせたワークシートを用意しました。PDF内のリンクからダウンロードしたワークシートをAirDropや、授業支援ツールのスクールワーク、クラスルームなどで配布すれば、生徒はファイルを開いて「編集」をタップするだけですぐに課題に取り組むことができます。

学習内容の概要

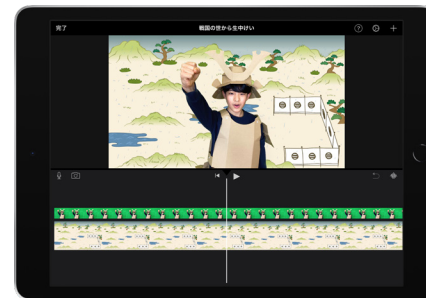
単元	災害からくらしを守る政治	天下統一に向けて	世界の中の日本の役割
	iPadを使えば、教室をニューススタジオに変えることもできます。伝えたいことをわかりやすくニュース番組形式にして伝える活動を通して、生徒の調べる力や創る力を引き出します。	iMovieを使えば、背景や字幕の合成などが簡単に行えます。調べた情報をもとに戦国時代らしさを演出し、生中継風の完成度の高いビデオにまとめる活動を通して、表現力や対話力を伸ばします。	iPadを使って、世界で起きていることや課題、日本の今後の取り組みについて調べたことをまとめ、プレゼンテーションをします。言葉だけでなく写真や図形など視覚的な要素も加え、効果的に相手に伝える方法を学びます。

活動内容

- ①被災した人たちの願いについて調べよう
- ②復興への取り組みをまとめよう
- ③住民の声が政策につながる様子を伝えよう
- ④番組の感想を共有しよう



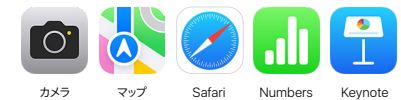
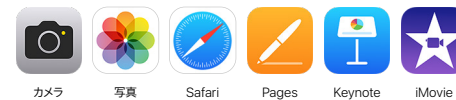
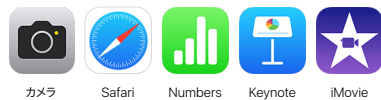
- ①合戦図を分析しよう
- ②背景画像を選ぼう
- ③戦国の世から生中継しよう
- ④ビデオの感想を共有しよう



- ①世界の国や地域とのつながりを調べよう
- ②国や地域とのつながりの背景を調べよう
- ③国や地域との10年後の未来を考えよう
- ④作品を共有し、感想を伝え合おう



使用するアプリ



災害から暮らしを守る政治

iPadを使えば、教室をニューススタジオに変えることもできます。
伝えたいことをわかりやすくニュース番組形式にして伝える活動を通して、生徒の調べる力や創る力を引き出します。

1	見つける	第1時 災害と、被災した人たちの願いについて知る	活動アイデア 1 5ページ 被災した人たちの願いについて調べよう
2	プランを立てる	第2時 災害発生時の地方自治体の取り組みを知る	活動アイデア 2 5ページ 復興への取り組みをまとめよう
3		第3時 復興に向けた国の取り組みを知る	
4		第4時 復興に向けた住民の取り組みを知る	
5		第5時 被災地の現在の課題と今後の取り組みを調べる	
6	創る	第6時 住民の願いと政治の取り組みについてまとめる	活動アイデア 3 6ページ 住民の声が政策につながる様子を伝えよう

7	評価する	第7時 今後のまちづくりについて話し合う	活動アイデア 4 6ページ 番組の感想を共有しよう
---	------	-------------------------	------------------------------

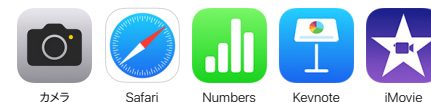
学習目標

災害によって被害を受けた人たちの願いを実現するために、国や地方公共団体の政治がどのようなはたらきをしているかをウェブサイトや資料を使って調査し、わかったことをまとめて発表する。その活動を通して、政治が国民生活の安定と向上を図る大切なはたらきをしていることを理解する。

身につく力

課題に関する様々な情報を身近なところから収集し、写真や図表などを用いて情報を整理する力。

使用するアプリ



評価

各活動アイデアについて、「ルーブリック」を使って、生徒が学習目標をどの程度達成できたかを評価します。

[ルーブリックをダウンロードする](#) 

iPad授業ガイドの詳しい使い方は

「使ってみようiPad授業ガイド」にて確認できます。

[「使ってみよう iPad授業ガイド」をダウンロードする](#) 

*活動アイデア1~4は、各単元の中でiPadの活用効果の高い箇所に紐付けて示しています。なお、各単元の想定時数や授業の流れは、使用する教科書や教材などにより異なります。

災害から暮らしを守る政治

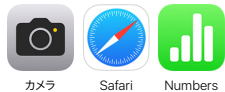
見つける 活動アイデア1 被災した人たちの願いについて調べよう

- ① 大規模な災害が発生した際、被災した人たちが必要としていたのは何か、困っていたことは何かを調べます。当時の新聞記事や図書館にある資料などが活用できます。
- ② 調べた内容をNumbersの**共同作業**を使ってグループでまとめます。まとめている過程で、**コメント**を追加して各自が気づいたことを書き加えたり、情報を補足する写真やスクリーンショット、URLなどを追加したりしてもよいでしょう。また、スクリーンショットやSafariで検索して見つけた画像を使用する際には、著作権に注意する必要があります。検索する時は著作権フリーなどの条件を設定したり、引用する時には出典元を明記したりするなど、情報モラルについて生徒がきちんと理解していることが大切です。
- ③ 被災した人たちが置かれていた状況について、様々な角度から話し合い、内容を整理します。

💡 iPad活用のヒント

Numbersで画面右上の👤をタップすると、共同作業に参加している人がわかります。また、参加者の名前のある横にある色付きのドットをタップすると、その人がスプレッドシートのどの部分を編集しているのかを確認することができます。

活用できるアプリ



小学校6年 | 社会

情報活用能力

インターネット上の情報の閲覧・検索(ステップ2)
情報を伝える主なメディアの特徴(ステップ3)
情報に関する自分や他者の権利があることを踏まえ、尊重しようとする(ステップ3)

プランを立てる 活動アイデア2 復興への取り組みをまとめよう

- ① 活動アイデア1で調べた内容をもとに、「復興と政治の取り組み」について調べます。
- ② 住民の声から政治の決定に至るまでの流れを意識して、調べた内容をKeynoteにまとめます。まとめたスライドは活動アイデア3のニュース番組で使用します。テレビなどのニュース番組の画面をイメージし、文字の大きさや、図の見やすさを工夫します。



活用できるアプリ



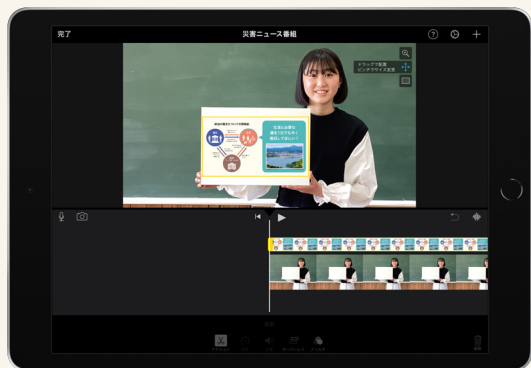
情報活用能力

調査や資料等による基本的な情報の収集の方法(ステップ2)
複数の表現手段を組み合わせて表現する方法(ステップ3)
問題解決のための情報及び情報技術の活用の計画を立てる手順(ステップ3)

災害から暮らしを守る政治

創る 活動アイデア 3 住民の声が政策につながる様子を伝えよう

- ① 「復興と政治の取り組み」に関するニュース番組をiMovieで制作します。グループごとに、撮影担当、ナレーター役、政治家役、住民役など、役割を決めてから、番組の構成を考え撮影します。
- ② iMovieのスプリットスクリーンやピクチャ・イン・ピクチャなどのオーバーレイを活用してビデオを編集し、協力して番組を完成させます。



活用できるアプリ



小学校6年 | 社会

情報活用能力

映像編集アプリケーションの操作(ステップ2)
発信した情報や情報社会での行動が及ぼす影響を踏まえ、行動しようとする(ステップ3)

さらに学びを深める 本格的な番組に仕上げよう

- iMovieを活用して、番組タイトルや、発言内容のポイントを伝える字幕を追加したり、ナレーションや効果音をつけたりして、本物のテレビ番組のような要素を盛り込みましょう。
- 複数のiPadで違うアングルから撮影した、政治家役や住民役のカットアウェイショット*1を効果的に使うと、伝えたい内容をより際立たせることができます。
- 取り組みの紹介だけで終わらず、地域の人やソーシャルメディア上の反応、今後の課題なども番組に取り入れたい、異なる意見を持つ政治家を登場させたりして、多様な視点から事実を語れるようにしましょう。
- 活動アイデア2で作るスライドにマジックムーブなどで動きをつけたものをムービーに書き出してみましょう。それをビデオに加えると、動きのあるフリップを作成することができます。

*1) Everyone Can Create : ビデオ「ドキュメンタリー」 76ページ

評価する 活動アイデア 4 番組の感想を共有しよう

各グループが制作したビデオを視聴して、それぞれの良かった点や、より良くできる点を見つけて共有します。さらに、政治が国民の生活の安定と向上を図るために大切なはたらきをしていることについて気づいたことを、自分の言葉でまとめます。生徒同士が意見を交換することで、新しい視点が生まれ、次の活動へ活かすことができます。

天下統一に向けて

iMovieを使えば、背景や字幕の合成などが簡単に行えます。

調べた情報をもとに戦国時代らしさを演出し、生中継風の完成度の高いビデオにまとめる活動を通して、表現力や対話力を伸ばします。

1	見つける	第1時 合戦について知る	活動アイデア 1 8ページ 合戦図を分析しよう
2	プランを立てる	第2時 織田信長と豊臣秀吉について知る	活動アイデア 2 8ページ 背景画像を選ぼう
3		第3時 日本と外国の関わりについて知る	
4		第4時 安土城と織田信長	
5	創る	第5時 大阪城と豊臣秀吉	活動アイデア 3 9ページ 戦国の世から生中継しよう
6	評価する	第6時 2人の武将についてまとめ、話し合う	活動アイデア 4 9ページ ビデオの感想を共有しよう

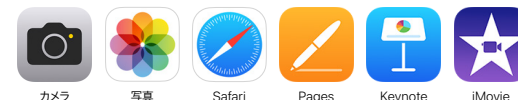
学習目標

織田信長と豊臣秀吉が日本の歴史の中で果たした役割について考え、調査し、わかったことを伝える。その活動を通して、戦国の世から天下統一への流れを理解する。

身につく力

主体的かつ対話的に課題について追究し解決しようとする力。
調べたことをビデオで表現する力。

使用するアプリ



評価

各活動アイデアについて、「ルーブリック」を使って、生徒が学習目標をどの程度達成できたかを評価します。

[ルーブリックをダウンロードする](#) Ⓣ

iPad授業ガイドの詳しい使い方は

「使ってみようiPad授業ガイド」にて確認できます。

「使ってみよう iPad授業ガイド」をダウンロードする Ⓣ


*活動アイデア1~4は、各単元の中でiPadの活用効果の高い箇所に紐付けて示しています。なお、各単元の想定時数や授業の流れは、使用する教科書や教材などにより異なります。

天下統一に向けて

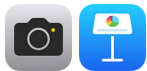
見つける 活動アイデア 1 合戦図を分析しよう

- ① 教科書に掲載されている資料「長篠の戦い」(長篠合戦図屏風)をiPadで撮影します。
- ② 画像をKeynoteに貼りつけ、拡大縮小やマスクを使って着目した箇所に焦点を当てます。マスクした部分は、ダブルタップをすると画像全体のどこから切り抜いたものなのかわかります。グループでそれぞれが着目したポイントを共有します。
- ③ 教科書も参考にしながら、グループでまとめた内容をクラス全体に発表します。

💡 iPad活用のヒント

Keynoteで、写真を別の写真に置き換えるには、変更したい写真をタップします。次に、画面右上の>「イメージ」>「置き換える」の順にタップして、「写真またはビデオを選択」もしくは「写真またはビデオを撮る」を選択し、新しい写真を選びます。

活用できるアプリ



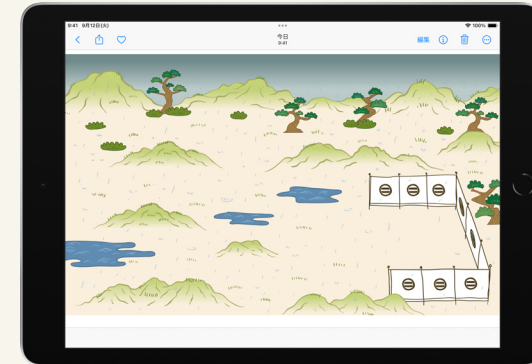
カメラ Keynote

情報活用能力

調査や資料等による基本的な情報の収集の方法(ステップ2)
情報と情報との関係付けの仕方(ステップ3)

プランを立てる 活動アイデア 2 背景画像を選ぼう

- ① 織田信長と豊臣秀吉、それぞれの担当グループに分かれ、担当の人物を象徴する出来事やエピソードをいくつか決め、その背景として適切な絵や写真をSafariで検索して選びます。
- ② スクリーンショットを撮って画像を写真アプリに保存し、必要に応じてマークアップで注釈を入れます。
- ③ 織田信長と豊臣秀吉の立場から、背景を補足する情報をどのように説明するか、グループで話し合いながら、ビデオにまとめて伝えるための台本をPagesで準備します。



活用できるアプリ

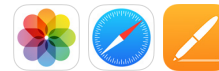


写真 Safari Pages

情報活用能力

情報同士のつながりを見つけようとする(ステップ2)
複数の視点を想定して計画しようとする(ステップ3)

天下統一に向けて

創る 活動アイデア 3 戦国の世から生中継しよう

- ① グループごとに2～3分のビデオをiMovieで作成します。出演者、プロンプター、ビデオの撮影や編集などの担当者をそれぞれ決めて、協力して作ります。Pagesを**発表者モード**にすることで、プロンプターとして活用できます。
- ② 活動アイデア2で準備した台本をもとに、カット割を考え、武将を演じる生徒は、役になりきってストーリーを伝えます。
- ③ 撮影する際は**グリーンスクリーン**を使用し、活動アイデア2で作成した画像を合成して、中継らしさを演出します。



活用できるアプリ



小学校6年 | 社会

情報活用能力

映像編集アプリケーションの操作(ステップ2)
目的や意図に応じて複数の表現手段を組み合わせる表現し、
聞き手とのやりとりを含めて効果的に表現する(ステップ3)

さらに学びを深める 時代をいきいきと伝えるアイデアを考えよう

- 戦国の世について、インタビュー形式や対談形式のトーク番組、戦国武将の名言や豆知識に関するクイズ番組など、様々な種類の番組を想定して撮影してみましょう。
- 当時の服装や道具などを調べ、衣装や持道具で雰囲気再現する工夫をしてもよいでしょう。
- **Ken Burnsエフェクト***1を用いると、画像の焦点を当てたい部分に寄っていったり、説明の流れを補足したりできます。
- 人物や時代を表現した音楽をGarageBandで作成し、ビデオに追加してみましょう。

*1) Everyone Can Create : ビデオ「現場からのレポート」 97ページ

評価する 活動アイデア 4 ビデオの感想を共有しよう

ほかのグループが作成したビデオを見て、どのような出来事やエピソードを取り上げているか、自分のグループのビデオと比べて気づいたことを自分の言葉でまとめます。その中から1つ自分たちのビデオに取り込むとしたら何が良いか、またその理由をグループで話し合います。さらに、各グループで注目した点をクラス全体に共有し、今後の活動に活かします。

世界の中の日本の役割

iPadを使って、世界で起きていることや課題、日本の今後の取り組みについて調べたことをまとめ、プレゼンテーションをします。言葉だけでなく写真や図形など視覚的な要素も加え、効果的に相手に伝える方法を学びます。

1	見つける	第1時 世界とのつながりを調べる	◀ 活動アイデア 1 11ページ 世界の国や地域とのつながりを調べよう
2		第2時 国際連合の役割と日本との関わりについて調べる	
3		第3時 国際協力(ODA、NGOなど)について調べる	
4	プランを立てる	第4時 世界とのつながりの背景を調べる	◀ 活動アイデア 2 11ページ 国や地域とのつながりの背景を調べよう
5		第5時 これまで調べたことをまとめ発表する	◀ 活動アイデア 3 12ページ 国や地域との10年後の未来を考えよう
6	評価する	第6時 私たちにできることを話し合う	◀ 活動アイデア 4 12ページ 作品を共有し、感想を伝え合おう

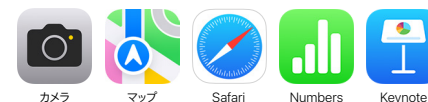
学習目標

世界の国や地域との様々なつながりについて調査し、まとめることで、日本の国際協力の様子を捉え、国際社会における日本の役割について理解する。

身につく力

日本と世界との関係や、日本が国際協力において果たす役割を多角的に考える力。資料やウェブサイトなどを活用して国際的な課題について調べる力。

使用するアプリ



評価

各活動アイデアについて、「ルーブリック」を使って、生徒が学習目標をどの程度達成できたかを評価します。

[ルーブリックをダウンロードする](#) Ⓣ

iPad授業ガイドの詳しい使い方は

「使ってみようiPad授業ガイド」にて確認できます。

[「使ってみよう iPad授業ガイド」をダウンロードする](#) Ⓣ

*活動アイデア1~4は、各単元の中でiPadの活用効果の高い箇所に紐付けて示しています。なお、各単元の想定時数や授業の流れは、使用する教科書や教材などにより異なります。

世界の中の日本の役割

① 見つける 活動アイデア1 世界の国や地域とのつながりを調べよう

- ① グループで、日本との関係を調べたい国や地域を決め、Safariを使って対象とする国や地域と日本とをキーワードに検索します。
- ② アクセしたページの内容をもとに、その国や地域との交流、貿易、イベント、共通の課題やその取り組みについて、情報を見つけたウェブサイトのURLとともにNumbersでリスト化します。
- ③ リスト化した情報をテーマごとに分類し、グループとして特に興味のあるテーマをクラスで発表します。

💡 iPad活用のヒント

Numbersでリスト化した表のデザインを変更してみましょう。表をタップして選択し、画面右上の「表」タブの順にタップします。表のスタイルを選択するか、設定を編集して自分の好きなスタイルを作成してください。

活用できるアプリ



小学校6年 | 社会

情報活用能力

インターネット上の情報の閲覧・検索(ステップ2)
情報の比較や分類の仕方(ステップ2)
情報の特徴(ステップ3)
聞き手とのやりとりを含む効果的なプレゼンテーション方法(ステップ3)

② プランを立てる 活動アイデア2 国や地域とのつながりの背景を調べよう

- ① 活動アイデア1で選んだテーマに関係する情報を調べます。
- ② マップアプリを使うと、航空写真やFlyoverツアー、Look Aroundなどでその国や地域の地形や、主な都市の様子を確認することができます。
- ③ カメラアプリで撮影した資料や、Safariの画面、マップアプリのスクリーンショットなどを活用し、Keynoteで選んだテーマに関係する情報をまとめます。



活用できるアプリ



情報活用能力

目的に応じたアプリケーションの選択と操作(ステップ3)
複数の観点から情報の傾向と変化を捉える方法(ステップ3)

世界の中の日本の役割

創る 活動アイデア 3 国や地域との10年後の未来を考えよう

- ① 活動アイデア2までにまとめたテーマについて、対象とした国や地域と日本が、10年後どのような関係になっているかをイメージします。また、そのために今後日本がどのような行動をとると良いかを考えます。
- ② 考えた内容をスライドにまとめます。写真に**描画**で注釈を書き込んだり、**図形**を用いたりして、イメージが伝わるように工夫します。Keynoteの図形ライブラリにはたくさんの図形が用意されているので、魅力的で伝わりやすいスライドを簡単に作成できます。
- ③ 作成したスライドを使ってプレゼンテーションをします。プレゼンテーション中に参照できるように、メモや説明などを**発表者ノート**に書いておくと便利です。



活用できるアプリ



Keynote

情報活用能力

目的に応じた情報メディアを選択し、調査や実験等を組み合わせながら情報収集し、目的に応じた表やグラフ、「考えるための技法」を適切に選択・活用し、情報を整理する(ステップ3) 物事を批判的に考察しようとする(ステップ3)

さらに学びを深める より伝わるプレゼンテーションにしよう

- Keynoteの**アニメーション**や、自分やほかの生徒のインタビュービデオなどを追加して、選んだテーマの重要性がより伝わる、わかりやすいプレゼンテーション資料にしましょう。
- iMovieで10年後の関係を示すビデオを作成したり、Pagesを使ってポスターで示したりすることもできます。
- **FaceTime**を使って、公共機関やNPO団体などの担当者をゲストスピーカーとして招待することで、これからの10年に向けた具体的な行動をよりイメージできるようになります。

評価する 活動アイデア 4 作品を共有し、感想を伝え合おう

活動アイデア3で作成したプレゼンテーションを**ムービーに書き出し**します。Numbersで用意した世界地図の白地図の上にムービーを貼りつけ、各グループで調べたことをクラス全体で確認できるようにします。ほかのグループが考えた、各国や地域の情報や10年後の未来を見ながら、世界の中で日本がどのような役割を果たしていくかをディスカッションします。ディスカッションのあと、世界の未来と日本の役割について、生徒一人ひとりが調べたり話し合ったりしてわかったこと、自身のこれまでの考えと違ったことなど、気がついたことを自分の言葉でまとめます。

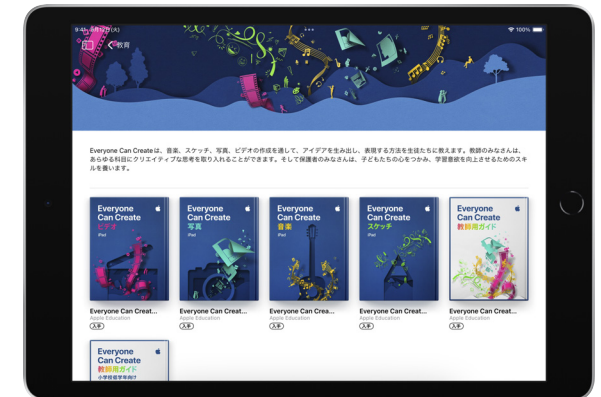
Appleのリソースについてもっと知る

Appleは教師のみなさんをサポートするために、様々な無料のリソースを提供しています。このガイドも、Everyone Can CreateおよびApple Teacherという2つのプログラムで紹介されている授業のアイデアやスキルを日本の小中学校に合わせた形で紹介したものです。さらに学びを深めたい方は、これらのリソースもぜひご覧ください。

Everyone Can Create

Everyone Can Createはアイデアを生み出し、伝えるスキルを身につけるためのプログラムです。ビデオ、写真、音楽、スケッチという表現手段をあらゆる教科に取り入れられるよう、4つのプロジェクトガイドと、2つの教師用ガイドを無料で提供しています。創造的な授業が、生徒の才能を引き出し、学びに夢中になるきっかけとなり、知識や技能の向上につながることは、調査研究によって示唆されています。これらのガイドを参考にしながら、授業をより魅力的なものに進化させ、クリエイティブなアクティビティを毎日の授業に取り入れる方法を身につけましょう。

[さらに詳しく >](#)



Apple Teacher

Apple Teacherは、毎日の授業や自身のスキルアップにApple製品を取り入れている教師のみなさんをサポートし、その成果をたたえるための無料のプロフェッショナルラーニングプログラムです。iPadやApple製アプリの使い方、授業のアイデアや実践例など、教師のみなさんに役立つリソースが数多く用意されています。プログラムに登録したメンバーには、Appleと教育に関するお知らせなどをメールで定期的にお届けします。

[さらに詳しく >](#)

